



# 6月 ピッコロだより

【6月の活動】～相手の気持ちを考えよう／自分の気持ちを伝えよう～

月	火	水	木	金	土
			1 相手の気持ちを考えよう (あったかことばとチクチクことばを知る)	2 相手の気持ちを考えよう (あったかことばとチクチクことばを知る)	3 相手の気持ちを考えよう (あったかことばとチクチクことばを知る)
5 相手の気持ちを考えよう (あったかことばとチクチクことばを知る)	6 相手の気持ちを考えよう (あったかことばとチクチクことばを知る)	7 相手の気持ちを考えよう (あったかことばとチクチクことばを知る)	8 相手の気持ちを考えよう (あったかことばを <sup>つ</sup> 使いながらゲーム)	9 相手の気持ちを考えよう (あったかことばを <sup>つ</sup> 使いながらゲーム)	10 相手の気持ちを考えよう (あったかことばを <sup>つ</sup> 使いながらゲーム)
12 相手の気持ちを考えよう (あったかことばを <sup>つ</sup> 使いながらゲーム)	13 相手の気持ちを考えよう (あったかことばを <sup>つ</sup> 使いながらゲーム)	14 相手の気持ちを考えよう (あったかことばを <sup>つ</sup> 使いながらゲーム)	15 協力して作ろう (みんなで遊べるおもちゃ作り)	16 協力して作ろう (みんなで遊べるおもちゃ作り)	17 協力して作ろう (みんなで遊べるおもちゃ作り)
19 自分の気持ちを伝えよう (さまざまな気持ちエピソード)	20 自分の気持ちを伝えよう (さまざまな気持ちエピソード)	21 自分の気持ちを伝えよう (さまざまな気持ちエピソード)	22 自分の気持ちを伝えよう (さまざまな気持ちエピソード)	23 自分の気持ちを伝えよう (さまざまな気持ちエピソード)	24 自分の気持ちを伝えよう (さまざまな気持ちエピソード)
26 自分の気持ちを伝えよう (上手に伝える)	27 自分の気持ちを伝えよう (上手に伝える)	28 自分の気持ちを伝えよう (上手に伝える)	29 自分の気持ちを伝えよう (上手に伝える)	30 自分の気持ちを伝えよう (上手に伝える)	

◇中学生の活動

- ・6/10(土) 考えて作ろう (制作)
- ・6/24(土) 将来の夢について考えよう

今月の主な活動 相手の気持ちを考えよう／自分の気持ちを伝えよう

ねらい: 相手が嬉しくなるようなことばや嫌な気持ちになるようなことばを知る

自分が感じるさまざまな気持ちについて考える

☆相手が嬉しい、不快に感じることばについて考え、ゲームを通して実際に、相手が嬉しくなるようなことば(あったかことば)を使う練習をします。

<相手の気持ちを考えよう>

☆日常生活で感じた気持ち(嬉しい、悲しい、悔しい等)を振り返り、そのエピソードと気持ちを発表します。また、話し合いを通して、自分の気持ちを伝える経験を積みみます。

<自分の気持ちを伝えよう>

※専門職の来所予定日

公認心理師(松本):16(金)、19(月)、30(金)

言語聴覚士(永山):20(火)、21(水)、22(木)、23(金)、26(月)、27(火)、28(水)、29(木)

理学療法士(樋口):5(月)、6(火)、14(水)、16(金)、24(土)

作業療法士(大平):2(金)、9(金)、12(月)、27(火)

★お知らせとお願い★

- ・提出書類につきましては、保護者の方より職員へ直接お渡しください。
- ・登園時間は、平日 16 時 20 分まで、土曜日(午前)10 時 20 分まで、(午後)13 時 50 分までをお願いします。
- ・お迎えは、平日 17 時 20 分～18 時の間、土曜日(午前)11時 50 分～12 時 10 分の間、(午後)15 時 20 分～15 時 40 分の間でお願い致します。また、お迎えの際は引き継ぎ 20 分前に番号札を準備しますので、来所された順に取ってお待ちいただき、引継ぎ開始時間になりましたらインターホンにてお知らせください。

【欠席連絡について】

- ・平日は 16 時以降、土曜日(午前)当日 9 時 30 分以降、(午後)13 時以降の欠席連絡となりますと、おやつ代(¥60/日)をご負担頂きますので、ご了承ください。また、職員不在の際は、留守番電話にメッセージを残しておいてください。
- ※都合により、活動内容が変更になる場合は、入口掲示板にてご案内致します。



皆さんこんにちは。梅雨本番の 6 月、雨が続いて外に出かけられないときには、のんびり本を眺めて過ごすのもいいかもしれません。

私が最近読んだ本の中に、親御さんが子どものことばの言い間違いを、なるべく長く続いてほしいと大事にしている場面がありました。ふだんの療育では、正しいことばのモデルを聞かせて自然な修正を促す支援を行っているのですが、この言い間違いを大事にしたいという思いを新鮮に感じました。そこで今回は私が見聞きした、子どもの可愛らしい言い間違いの例についてお伝えしたいと思います。

「おーい、おまみー」これは何のことだと思いますか？「おーい、おともだちー」と呼びかけているのです。「おともだち(お・と・も・だ・ち)」は、5 拍の音から

できている少し長めのことばなので、まだことば全体がひとかたまりのように聞こえている時期には、一つ一つ音を分けてとらえることも、とらえた音を

正しく覚えておくことも難しいために、このような可愛らしい言い間違いになったのです。



また、口を動かして発音するのも実は大変な作業です。「お」「と」「も」は口の形は同じですが、「お」は舌をあまり使わない音、「と」は舌先を上歯につけて作る音、「も」は閉じた口を丸く開きながら息を鼻に通して作る音、「だ」は上の歯につけた舌先を勢よく離しながら口を大きく開ける音、「ち」は口を横に引いて「だ」から舌先の位置を少しずらし、舌と歯の間隙から息を通して作ります。この複雑な動きをなめらかにつなげていくのですから、音の数や舌の動きを省略して「おまみ」になってしまうのもうなずけます。

「おまみ」が「おともだち」に進化するには、ことばの音を聞き分ける力や順番を覚えておく力、口や舌を正確に連続して動かす力が育つことが前提になるのです。ただし、「おーい、おまみー」には幼いながらも友だちに話しかけたい気持ちがあふれていて、その気持ちが何より大事ではないかと思うのです。

子どもは成長とともに日々変化していきます。思い悩んだ日々を振り返り、懐かしく感じるときもくるでしょう。今しかない、貴重な時間を楽しむ心の余裕も持ちたいものです。



言語聴覚士 仮上 桃子

